

ストレスはっさん

片山 壺心かたやま いしん

ぼくのお父さんは、いえをうるしごとをしています。いえにいてもしよっちゅうしごとの電話をしているし、休みの日も朝だけしごとに出たりで、とってもいそがしいです。そんなお父さんとのまい朝の日は、ハイタツチです。ぼくは、三兄弟なのでお父さんは三回ハイタツチをしてきあいを入れてしごとへ出かけます。ぼくもなぜか元気がでます。かえってくる時間も、ぼくがねるころです。

そんなお父さんのしゅみは、さかなつりです。たまにしごとが早くおわってかえってきたら夜づりにいきます。お父さんに、「何で夜づりにいくん？こわくないん？」と聞くと、

「これはお父さんのストレスはっさんなんよ。」
って言われました。この時、ストレスのいみがまいちわからなくて、モヤモヤしたままねました。つぎの日の朝、目ざめると、お母さんが、
「これ見て！でっかいよ。」

っと思えてくれたのは大きな大きなアコウというさかなでした。四十五センチくらいあってびっくりしました。
「もしかしてきのうお父さんがつったん？」
と聞くと、

「そうよ、ばんごはんにみんなでたべようね。」
と話しました。でもぼくは、ストレスのいみがずっときになっ

いたのでお母さんにそうだんしました。
「お母さん、ストレスって何？」

お母さんは、ちよつとびっくりして

「えっ？どしたん、そんなこと聞いて。」

「お父さん、ストレスがあるけんさかなつりいったんやって。」
というところとわらい出しました。よけいに気になったので、

「早くおしえて？」

と聞くと、

「いしんはつかれた時に何したらふつとぶ？」

と聞かれました。ちよつとかんがえて、

「んー？サッカーかな。」

するとお母さんは、こうこたえました。

「それー！お父さんもつかれた時は、さかなつりがいきぬきなんよ。おしごとでつかれた時にいったらスツキリするんよ。」
これで、ぼくもいみがわかつてスツキリしました。お父さんのつかれもふつとぶし、さかなもつれるし一せきにちようだとおもいました。

いつもおしごとがんばっているお父さん、さかなをいっぱいつてくれるお父さん、ぼくのかおにそっくりなお父さん、そんなやさしいお父さんがとつてもとつても大すぎです。今日もおしごとがんばってね。